

CLUSTERPRO X SingleServerSafe 4.1/4.2 for Windows アップデート手順書 《CPRO-XWC40-01》

1. アップデートを適用する前に

1.1. アップデートの適用が可能なバージョン

本アップデートの適用対象となる CLUSTERPRO X の内部バージョン、および本アップデート適用後の内部バージョンは以下のとおりです。本アップデート適用による内部バージョンの変化はありません。

適用対象バージョン	適用後バージョン
12.10 ~ 12.22	(バージョンの変更はありません)

CLUSTERPRO X の内部バージョンは、Cluster WebUI の [ステータス] タブから以下アイコンをクリックし確認してください。



本アップデートの適用対象となるモジュールのバージョン、および本アップデート適用後のバージョンは以下のとおりです。

適用対象モジュール名	適用対象モジュールバージョン	適用後モジュールバージョン
clpxml.dll	12.1.0.8164 ~ 12.2.2.11298	12.2.2.11299

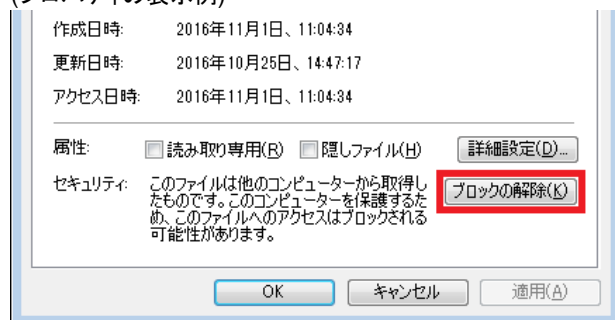
適用対象モジュールのバージョン情報については、エクスプローラから適用対象モジュールのプロパティを表示し確認してください。

1.2. アップデート媒体の準備

本アップデートは、zip 形式になっています。以下の手順で zip 形式のファイルを展開してください。

(1) zip ファイルのプロパティを開き [ブロックの解除] が表示されている場合、ブロックを解除してください。

(プロパティの表示例)



(2) アップデートを適用するサーバ上で zip ファイルを展開してください。サーバのローカルディスク上のフォルダを展開先に指定してください。

2. アップデートの適用手順



■ 手順どおりにアップデートを適用しないと、エラーが発生しアップデートが中断する場合があります。
このような場合は、再度、手順どおりにアップデートを適用してください。

以下の手順でアップデートを適用します。

- (1) サーバが正常動作中であることを、Cluster WebUI の [ステータス] タブから確認してください。
- (2) Cluster WebUI の [ステータス] タブにて、サーバ名をクリックし、[クラスタサスペンド] (以下アイコン) を実施してください。



- (3) 手順 (3-1) から手順 (3-3) までの作業を対象のサーバで実施してください。
 - (3-1) Administrator 権限を持つユーザでログオンしてください。
以降、必要な作業は Administrator 権限を持つユーザで実施してください。
 - (3-2) アップデート対象ファイルを退避します。エクスプローラ等から、下記の [変更前] のファイルを [変更後] のファイル名へ変更します。

[変更前] <CLUSTERPROインストールパス>\¥bin¥clpxml.dll

[変更後] <CLUSTERPROインストールパス>\¥bin¥clpxml.dll_org

- (3-3) 「1.2 アップデート媒体の準備」で展開したファイルを、下記の [コピー先フォルダ] へコピーします。

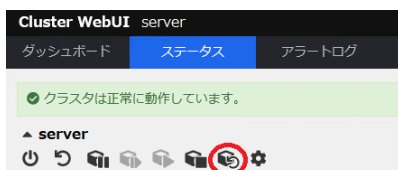
[展開したファイル] bin¥clpxml.dll

[コピー先フォルダ] <CLUSTERPROインストールパス>\¥bin¥

- (4) Cluster WebUI の [ステータス] タブにて、[クラスタリジューム] (以下アイコン) を実施してください。



- (5) Cluster WebUI の [ステータス] タブにて、[マネージャ再起動] (以下アイコン) を実施してください。



3. アップデート適用前の状態に戻す手順

以下の手順でアップデート適用前の状態に戻します。

- (1) サーバが正常動作中であることを、Cluster WebUI の [ステータス] タブから確認してください。
- (2) Cluster WebUI の [ステータス] タブにて、サーバ名をクリックし、[クラスタサスペンド] (以下アイコン) を実施してください。



- (3) 手順 (3-1) から手順 (3-3) までの作業を対象のサーバで実施してください。

- (3-1) Administrator 権限を持つユーザでログオンしてください。
以降、必要な作業は Administrator 権限を持つユーザで実施してください。

- (3-2) エクスプローラ等から、下記の[変更前]のファイルを [変更後] のファイル名へ変更します。

[変更前] <CLUSTERPROインストールパス>%bin%clpxml.dll

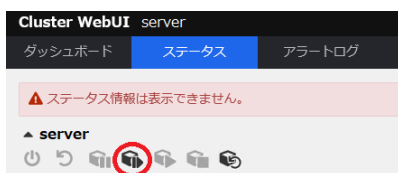
[変更後] <CLUSTERPROインストールパス>%bin%clpxml.dll_tmp

- (3-3) 「2 アップデートの適用手順」で退避したファイルを元の状態に戻します。エクスプローラ等から、下記の [変更前] のファイルを [変更後] のファイル名へ変更します。

[変更前] <CLUSTERPROインストールパス>%bin%clpxml.dll_org

[変更後] <CLUSTERPROインストールパス>%bin%clpxml.dll

- (4) Cluster WebUI の [ステータス] タブにて、[クラスタリジューム] (以下アイコン) を実施してください。



- (5) Cluster WebUI の [ステータス] タブにて、[マネージャ再起動] (以下アイコン) を実施してください。



4. 修正内容

項 番	修正対象の 内部バージョン	修正項目
1	12.10 - 12.22	XML 外部実体攻撃 (XML External Entity, XXE 攻撃)への対応を行いました。